

議会だより

定例会

令和7年第3回定例会は9月10日に招集され、提出された案件を審議し閉会いたしました。

委員会報告

総務産業常任委員会

■調査期日 6月23日(月)

■調査事項

・株式会社北竜振興公社の経営状況について

■調査結果 指摘事項なし

■調査期日 7月17日(木)

■調査事項

・ひまわりの里の開花状況と運営状況について

■調査結果 指摘事項なし

■調査期日 8月28日(木)

■調査事項

・建設工事の施行状況について

■調査結果 指摘事項なし

同意

○教育長の任命について

田中 佳樹氏(再)

○教育委員会委員の任命について

三上 公昌氏(再)

○公平委員会委員の選任について

谷本 光氏(新)

○監査委員の選任について
議会議員選任 沖野 学

原案可決

○北海道市町村総合事務組合規約の一部変更について

○北海道市町村職員退職手当組合規約の一部変更について

○北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の一部変更について

○北竜町技師等就業資金貸付条例の制定について

○北竜町介護福祉士修学資金貸付条例の一部改正について

○令和7年度北竜町一般会計補正予算(第2号)について

○令和7年度北竜町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

○令和7年度北竜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

○令和7年度北竜町介護保険特別会計補正予算(第1号)について

○令和7年度北竜町簡易水道事業会計補正予算(第1号)について

○令和7年度北竜町農集排水事業及び個別排水処理事業会計補正予算(第2号)について

○令和7年度北竜町簡易水道事業会計補正予算(第1号)について

○令和7年度北竜町農集排水事業及び個別排水処理事業会計補正予算(第2号)について

○令和7年度北竜町簡易水道事業会計補正予算(第1号)について

○令和7年度北竜町簡易水道事業会計補正予算(第1号)について

○(仮称)ひまわり住宅A棟建設工事請負契約の締結について

○令和6年度北竜町一般会計外5会計(国保・診療所・後期高齢・介護・特老)の歳入

認定

○令和6年度北竜町一般会計外5会計(国保・診療所・後期高齢・介護・特老)の歳入

○令和6年度北竜町一般会計外5会計(国保・診療所・後期高齢・介護・特老)の歳入

一般質問

9月10日に開会された第3回定例会では、7名の議員から9件の一般質問がありました。



澤田議員

小中学校の管理者住宅の機能改善について

澤田議員

ここ数年、温暖化による気温上昇が顕著になり、北竜町では早い段階で教室にエアコンが設置され、昨年には教職員室にも設置された。一方、小中学校の校長教頭先生は管理者として町内に居住しなければ

ンが設置され、昨年には教職員室にも設置された。一方、小中学校の校長教頭先生は管理者として町内に居住しなければ

意見書提出

次の意見書を可決し、関係省庁に送付いたしました。
○国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

ならないが、現在、校長教頭住宅にはエアコンの設置はない。

2年から3年の任期で、自分で設置するのは現実的ではない。

学校環境だけでなく、住環境を整備し、良い環境をアピールしていくことが良い人材を呼び込む事に繋がっていくと思うが、理事者の考えを伺いたい。

田中教育長

近年、道教委では管理職のなり手不足が課題となっており、理由の一つに公宅への入居や学校所在地への移住をしなければならず、単身赴任等による経済的負担が大きくなっている事もあるので柔軟な対応が求められている。

本町でも令和8年度より校長については移住を求める

が、教頭については60分以内の通勤を可能とする。

佐々木町長

義務教育学校の開校に伴い、住宅の建替えも考えている。本町に移住を希望される教頭先生もいるので、計画的に推進をしていきたい。

澤田議員

民間事業者のアパートではエアコンは備え付けの所は多いと聞くが、建替えの際には設置するのか。

佐々木町長

建替えの際には冷暖房のエアコンを計画し、教育長とも相談し教頭先生も住んでもらえる施策を考える。また、教職員の方々も住んでもらえるようにも考えていく。



澤田議員

新しい学校教育に於けるALITの採用のあり方について

澤田議員

北竜町で長年にわたりALITとして活躍されている方について、単なる外国語指導助手という立場を超え町内に居住

今後、町が進める義務教育学校の開設に向けてALITの方を教育委員会職員として採用し、安定的な雇用環境を整え保育園から小中学校、更に一般町民への外国語教育の充実強化を図るべきと考えるが、理事者の考えを伺う。

佐々木町長

現在のALITは地域にとって貴重な存在であると認識をしているが、直接雇用には様々な制限と課題があるため、当面については現状の派遣契約を継続する。

町が直接的雇用する場合、派遣会社が育成・指導に要した経費を町で負担しなければならぬことや、病気等の自



尾崎議員

アライグマ捕獲の報奨額の見直しについて

尾崎議員

野生化したアライグマの道内の農業被害は平成5年頃からで、その後生息分布は全道にくまなく広がっている。北竜町では電牧柵や箱罠購入の

己都合による長期離脱した場合、代替要員を町独自で確保しなければならず、速やかな確保が困難になるリスクがあるが、派遣契約の場合では迅速な代替が可能である。

令和7年度の北竜町教育行政方針に基づき、令和9年度から研究開発校の指定を目指して英語に親しむ「英会話科」の新設に向けて外国語指導助手の増員を考えており、学校や保育園、一般町民との交流を通じて幅広い活用を計画的に実施していく予定でいるので、その導入段階において多様な雇用方法を視野に入れながら、安定的な雇用の実現を目指している。

い。外敵のない外来生物は地道に捕獲を続け、数を増やさないことが今出来る最良の対策と感じている。

現在アライグマの捕獲奨励額は一頭1,000円で、これは国からの補助額そのままのこと。楽しい作業とは言えず、餌代や箱罠設置、毎日の見回り等の労働費は最低賃金以下である。町からも応援いただき報奨額を見直すことについて、理事者の考えを伺いたい。

佐々木町長

北竜町では電牧柵や箱罠導入に対する助成をしている。どのような対処方法が有効なのかを調べて対応したい。関係機関と連携し報奨額の見直しについて検討する。

尾崎議員

北竜町の自然は豊かで、山があり沢を好むアライグマの生息数は多い。電牧柵は有効だが数を減らす手段にはならない。箱罠捕獲の協力をお願いしたいが、現在の報奨額では関心を持つ人がいない。

佐々木町長

農業の現場の状況をよく見聞きして検討していく。



佐藤議員

ひまわりの里町道沿いに 休憩用ベンチの設置につ いて

佐藤議員

近年の温暖化により、ひまわりの里寄付金受付所から上に向かつての町道沿い遊覧車乗り場向かいの森林との間の排水トラフに蓋をし、ベンチの設置が必要と考えられるが、理事者の見解を伺いたい。

佐々木町長

今シーズンは非常に好天に恵まれ、ひまわりの咲揃えも良く、多くの観光客の皆様にご感動と元氣をお持ち帰り頂いたものと感じている。



木村議員

ひまわりの里の今後 の整備計画について

木村議員

新観光センターの設計について、今後のひまわりの里の整備計画にどのように反映さ

ひまわりまつり期間中は、暑い日も多く1日約20、000人の来訪者を見込む日があるなど大変な賑わいを見せる中、熱中症予防のアナウンス放送や場内ひまわりの里の全体の中で随所に休憩スペースを設けるなどの対策を講じているところである。

ご意見の通り、休憩場所の増設等の対策については引き続き来年のシーズンに向けて関係者各位と検討し改善に向けて進めていきたい。

②渋滞緩和のため、北竜中央霊園の道路を一時的に通行止めとし、入口と出口を専用道路とする。

③出口専用道路新設のため、新観光センター建設を想定して観光センターからノンノの森下側、北竜中学校北側を通り国道275号線へ出れるよう道路の新設。

佐々木町長

次世代に繋げていくため昨年見直し、まち全体のブランド力の向上を目指している。今年度は、令和9年度から10年度に実施予定の新観光センター建設や周辺整備に向けた基本設計を進めている。新たな施設では、ひまわりまつり以外でもイベントやワークショップ等、子供から大人もチャレンジできる場所として通年利用を想定した施設とするよう進めている。

ひまわりの里の今後の整備計画や方針は、ひまわりの里やサンフラワーパーク北竜温泉等を含めたひまわりの里全体を別途策定する。

引き続き、町民の皆さまや関係団体等との対話を大切に

①出入り口の道路、駐車場、展望台、ノンノの森等の整備

し、ひまわりの里がこれからも地域に愛され、誇りとなる存在であり続けるよう取り組んでいく。

木村議員

新観光センターの具体的な見通しはいつ頃示されるのか。住民や観光客の意向が反映されるよう十分検討する必要がある。

佐々木町長

皆さまの意見を反映できるよう準備段階に入っている。



木村議員

ひまわりの里の周辺 施設との連携について

木村議員

今後のひまわりの里の周辺施設との連携について教えて頂きたい。

①ひまわりの里とサンフラワーパーク北竜温泉を繋ぐ裏道路の整備。

②ひまわり畑（圃場）を見渡せる、中間地点での休憩所、トレーラーハウス等の設置。

佐々木町長

ひまわりの里とサンフラワ

本年から始まった駐車場料金の徴収では、今後の収入はどのくらいか、新観光センターの建設費はどのくらいか、駐車場料金の収入でどのくらいの見合いができるのかも準備検討段階に入っているので協議していきたい。

木村議員

道路整備等、ひまわりの里との一体化と活性化を目指して検討して頂きたい。

パーク北竜温泉は、本町の重要な観光資源であり、観光スポットである。どちらも利用者の利便性等の観点から施設間連携の必要性が求められる。

各整備内容は現在検討段階であり、今後の全体構想の策定にあたり関係団体と連携を図り、皆さまのご意見やアイデアを頂きながら具体的な整備内容等、財源などを含めて検討する。



沖野議員

熱中症対策について

沖野議員

近年本町でも、熱中症警戒アラートの発表が多くなってきている。

軽い熱中症症状の方が高齢者住宅ではいたようだ。最近

建設された単身者住宅は、冷暖房機器が備え付けられているが、熱中症対策として高齢者住宅にも町でエアコンの設置をしてもよいのではと思う。理事者の考えを伺いたい。

佐々木町長

熱中症対策も本州と同様な対策をしなければならないと思う。

公営住宅は、エアコンを付ける際に模様替え申請をしていただき本人負担で設置していただいている。

全ての高齢者住宅にエアコンを設置の場合、2,000万円程の設置費がかかる。メンテナンス料や電気代増加などの住民負担も考えられるので設

置に関しては慎重な議論が必要かと思うが、防災減災の観点

から補助事業の助成はあるので、国や道の補助を使つて建設した公営住宅は対象にならないのかと働きかけていく。

沖野議員

確かに2,000万円の設置費は大きな負担かと思う。購入補助金などの考えはあるのか。

佐々木町長

単年度で計画するのは厳しいが、年度をまたぎ段階的に設置計画など検討していく。

熱中症警戒アラートが出された際には、クーリングシエルターの案内を出すよう指示をした。現在空室の部屋にクーリングシエルターを設置するのも良いかと思う。

沖野議員

空室のクーリングシエルター整備はとても良い考えだと思うので、ぜひ計画をお願いしたい。



林議員

町が管理する公営住宅等の管理状況について

林議員

町外在住で町内へ移住を考えている方が公営住宅の内見をしたが、カビが酷くとても住める状況ではなかったと聞いた。また、単身住宅に住んでいる方も長く住み続けられないと聞いた。

せっかく北竜町に移住、定住を考えているのに住宅状況が悪いのであれば、誰も北竜町に住みたいと思わないのではないか。

理事者はこのような現状を把握されているのか。また、改善についての見解を伺いたい。

佐々木町長

空室時の管理方法の改善見直しを図る。本年度、桜岡団地に単身者向け住宅4戸を建設し、定住の促進を図り、補助金を活用したりノベーション事業を4戸予定している。令和9年までに計12戸を予定

している。

リノベーションの内容は、内装の模様替えや内装の改善によるカビ対策などを予定している。



寺垣議員

眺望の丘の活用の一考察について

寺垣議員

現在、町内にある「眺望の丘」の整備と有効活用は充分に図られている現状にはないと思われる。

有効に活用するには様々な

制約と他の施策の優先順位の関係があると思うが、昨今の埋葬に係る考え方の変化や、墓じまいの現状とを踏まえ眺望の丘に合葬のできる施設を整備し町内外を問わず、「追慕の丘」として自然味溢

林議員

移住を考えている方は住宅や設備が綺麗で充実していることが条件の1つと聞いているので、なるべく早い対応をお願いしたい。

佐々木町長

移住定住に関する部分についての対応も含め公営住宅の長持ちする住みやすい住宅等、町事業化計画の視点を変えながら協議を進めていく。

れたロケーションとひまわりの町との観光コラボとして広く周知すれば、ひまわりまつりとの観光シナジー効果が期待できるものと考えてるが理事者の考えを伺いたい。

佐々木町長

現在、墓地の設置場所については、周辺の生活環境との調和に配慮されていることが墓地経営管理の指針で示されている。地域住民の感情に十分な配慮や衛生面の注意が重

要であり新たな墓地造成や拡
幅などについては、正当な理
由がある事が求められている
ことから、町としては墓地の
拡大について現段階において
考えていない。

眺望の丘はサンフラワワー
ークを眼下に望み北空知の美
しい田園風景を一望できる観
光スポットのひとつであり、
ひまわりの里やサンフラワー
パーク北竜温泉並びに道の駅
とも隣接していることから単
体としてではなく、一体的、
総合的な観光として活かす方
法を検討することが必要であ
ると考えている。

令和9年から10年にかけて
ひまわりの里の再整備計画の
具現化に併せて、眺望の丘の
有効活用方法についても関
係機関のご意見を頂きながら
検討を進める。

また、共同墓の設置につい
ても、まずは町民の意識調査
などのリサーチ活動から進め
ていきたい。

活動報告

【10月】

1～3日：北空知議会議長連
絡協議会道外先進地行政視察
10日：総務産業常任委員会
21日：北空知地区監査委員・
補助職員研修会（監査委員）
23日：例月出納検査（監査委
員）
24～25日：空知町村議会議長
会第2回総会
28日：まちづくり等調査特別
委員会

活動予定

【11月】

4～6日：総務産業常任委員
会道内政務調査
11～12日：第69回議長全国大
会
17～18日：監査委員・補助職
員研修会（監査委員）
21日：総務産業常任委員会
未定：例月出納検査（監査委
員）

議員の賛否の公表

（北竜町議会では予算議会における議員の賛否を公表することとしています）

令和7年第3回定例会（会期：9月10日～12日）

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 ー：議長の為賛否無し

▽議 案 件 名	沖野	林	寺垣	佐藤	木村	澤田	尾崎	中村
教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	ー
教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	ー
公平委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	ー
北海道市町村総合事務組合理約の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	ー
北海道市町村職員退職手当組合理約の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	ー
北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	ー
北竜町技師等就業資金貸付条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	ー
北竜町介護福祉士修学資金貸付条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	ー
令和7年度北竜町一般会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	ー
令和7年度北竜町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	ー
令和7年度北竜町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	ー
令和7年度北竜町介護保険特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	ー
令和7年度北竜町農業集落排水事業及び 個別排水処理事業会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	ー
令和7年度北竜町簡易水道事業会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	ー
監査委員の選任について	△	○	○	○	○	○	○	ー
（仮称）ひまわり住宅A棟建設工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	ー
本会議における質疑の件数	質疑 0件	質疑 0件	質疑 0件	質疑 0件	質疑 0件	質疑 0件	質疑 0件	ー

決算審査特別委員会 (9月11日～12日)

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 -：委員長・監査委員の賛否無し

▽委員会付託案件	沖野	林	寺垣	佐藤	木村	澤田	尾崎	中村
令和6年度北竜町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	-	○	○	-	○
令和6年度北竜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	-	○	○	-	○
令和6年度北竜町立診療所事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	-	○	○	-	○
令和6年度北竜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	-	○	○	-	○
令和6年度北竜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	-	○	○	-	○
令和6年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	-	○	○	-	○
令和6年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業会計決算認定について	○	○	○	-	○	○	-	○
令和6年度北竜町簡易水道事業会計決算認定について	○	○	○	-	○	○	-	○
決算審査特別委員会における質疑の件数	質疑 1件	質疑 1件	質疑 9件	-	質疑 1件	質疑 7件	-	質疑 7件

決算審査特別委員会における議員質疑（意見附与・修正を求めた質疑）

質疑内容	答弁内容
【サンフラワーパーク北竜温泉の緊急整備について】 8月から一部露天風呂の温度が低く、利用者から不満の声がある。 北竜温泉の経営も上向きにあると言う事もあり、早急の対策をされたい。 また、露天風呂外側の壁際が整地不良により滞水があり、衛生上の懸念があるため、適切に対策されたい。	露天風呂の温度が低いのは振興公社も色々に対応している。 機材等の更新・点検等しているが、根本的な原因がわからない。今後も継続して原因がわかるよう確認し調査する。 滞水については、今後方法を考えていく。
【児童公園の維持管理について】 町内に複数ある児童公園については、現状、管理不十分であり、周辺住民の利用状況を確認し、利用の少ない公園は廃止して、一定の利用規模の見込める場所に集約することを検討されたい。	地方創生事業の中で対応し、検討していく。 今後、住民調査をし対応していく。



■強風（竜巻並み）は突然やってきた

8月下旬深夜、社員から休憩所そばの小農機具庫・格納庫が倒れていると町内業者より連絡があり、共に現場を見に行きました。

小農機具庫は飛ばされ隣地の水田に散乱、格納庫はシャッターから強風が突き抜け倒壊寸前で中には自走型防除機が置かれていた。

翌日の朝、現場を再確認し愕然とした。個人での処理では無理と判断。町内業者に依頼し、5名の人力手作業・ユニック付4トントラックで水田に散乱した小農機具庫屋根トタン、柱、壁木材を1日かけ空き地に集約した。格納庫はウンボを借りることができ、自走式防除機は屋根を持ち上げ搬出する事ができた。人・農機具に損害が無かった事が救いである。

強風は鴨井沢橋入口より5件の農地を吹き抜け最後は山林で消滅したが、水稲、そば倒伏の被害が発生したのは残念である。町内では強風の被害が恵岱別以外無かった事は救いである。

（佐藤 稔）